

# 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業について

国立循環器病研究センター 研究医療課  
石上 晃子



事業概要

- 循環器病対策推進基本計画で、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」として、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容（※）であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っていないとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある

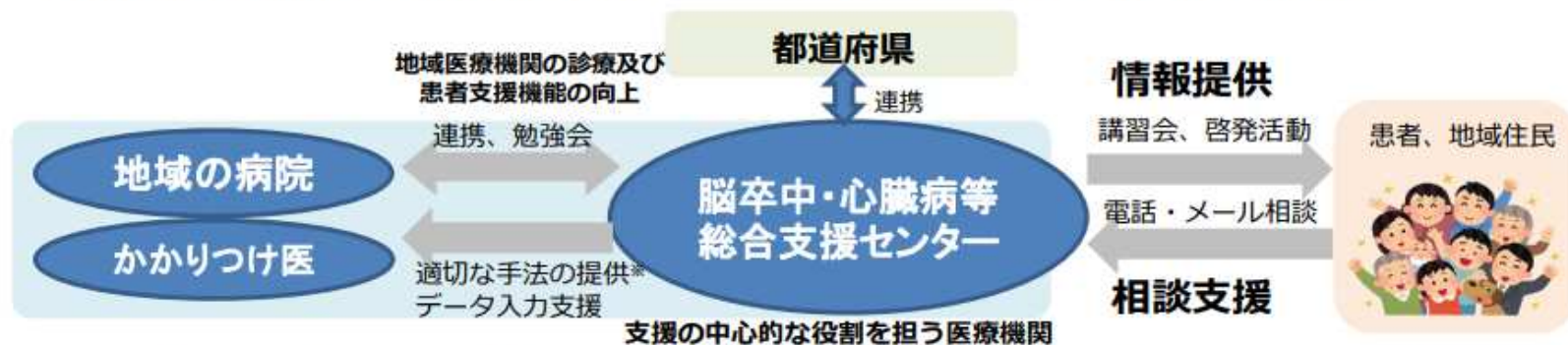
※具体的に、社会連携に基づく循環器病患者支援、リハビリテーション等の取組、循環器病に関する適切な情報提供・相談支援、循環器病の緩和ケア、循環器病の後遺症を有する者に対する支援、治療と仕事の両立支援・就労支援、小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策などが不十分

- この取組を効果的に推進するために、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携を取りながら、地域の医療機関と勉強会を開催したり、支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化することで、包括的な支援体制を構築し、地域全体の患者支援体制の充実を図るべく、まずモデル的に、全国に10都道府県程度において先行的に実施し、検証を行う

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

<役割> 循環器病に関する情報提供及び相談支援の、地域における核となり中心的な役割を担う



<センターに求められる要件> 支援の中心的な役割を担うことから、各疾患に対して専門的な知識が求められることを想定

- 先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取りながら、データ入力の支援等もできること（※詳細はR3年度特別研究で報告）
- 自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

期待される効果：地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる

国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

# 選定された実施法人

- 原則として1都道府県あたり1医療機関が、都道府県を通じて応募することとなっていた。
- 応募した医療機関について、国の循環器病対策推進協議会の下に設置された、総合支援委員会により審査がなされ、以下のとおり実施法人が選定された。

## 令和4年度採択施設

No	都道府県	事業者名
1	宮城県	国立大学法人東北大学東北大学病院
2	茨城県	国立大学法人筑波大学
3	栃木県	学校法人獨協学園獨協医科大学病院
		学校法人自治医科大学
4	富山県	国立大学法人富山大学付属病院
5	三重県	国立大学法人三重大学医学部付属病院
6	京都府	京都府立医科大学付属病院
		国立大学法人京都大学
7	徳島県	国立大学法人徳島大学
8	香川県	国立大学法人香川大学
9	福岡県	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
10	熊本県	国立大学法人熊本大学熊本大学病院

## 令和5年度採択施設

No	都道府県	事業者名
1	青森県	国立大学法人 弘前大学
2	岩手県	学校法人 岩手医科大学
3	埼玉県	学校法人 埼玉医科大学
4	神奈川県	東海大学医学部付属病院
5	石川県	国立大学法人 金沢大学附属病院
6	福井県	国立大学法人 福井大学医学部附属病院
7	長野県	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
8	大阪府	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
9	兵庫県	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院
		地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
10	奈良県	公立大学法人 奈良県立医科大学
11	鳥取県	国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院
12	広島県	国立大学法人広島大学 広島大学病院
13	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
14	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
15	長崎県	国立大学法人 長崎大学病院

(※) 当センターは、大阪大学と連携して事業を実施することとしている。



# 実施すべき事業内容の主なもの

- ア. 循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置
- イ. 地域住民を対象とした、循環器病についての予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ウ. 地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- エ. 相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供

等

なお、厚労省の循環器病対策推進協議会においては、大阪府のモデル事業の実施に際し、もっと都道府県行政と連携を密にして、大阪府全体に影響が及ぶような展開が求められている。

【テーマ】

## 『脳卒中、心臓血管病の患者支援に向けて』

あらゆる職種の医療従事者の方に、ご視聴いただきたく思います

【日時・開催形式】

2023年 9月6日(水) 18:00～19:30

「Teams」でのオンライン開催(事前登録制)

はじめに 『循環器病総合支援センターについて』

演者 飯原 弘二

国立循環器病研究センター 病院長  
脳卒中・心臓病等総合支援センター 国循代表

講演Ⅰ 『脳卒中後の合併症管理と患者支援』

演者 猪原 匡史

国立循環器病研究センター 脳神経内科部長

講演Ⅱ 『心不全診療の進歩と患者支援』

演者 北井 豪

国立循環器病研究センター 心不全科部長

司会 豊田 一則

日本脳卒中医療ケア従事者連合大阪府支部代表  
国立循環器病研究センター 副院長



**ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます**

